

食と健康との関わりを科学し、地域社会へと還元する フード&ヘルス イノベーションセンター開設記念講演会 『味とにおいの見える化が描く新世界』都甲特任教授が講演

2024 年 4 月、中村学園大学（福岡市城南区別府）は「フード&ヘルス イノベーションセンター」を開設しました。このセンターは、食と健康に関する研究・教育活動を推進する「食の中村」がその知見を地域社会へ還元することを目的としています。5つの部門からなる同センターでは、地域社会の健康増進、啓蒙活動、産学連携活動等を行っていきます。開設を記念し、都甲潔特任教授による講演会を開催します。多くのメディアで味覚について解説してきた都甲教授が、地域住民の皆様に食の世界の面白さを講演します。



【フード&ヘルス イノベーションセンター】

2024 年 4 月開設。久保千春センター長（中村学園大学・中村学園大学短期大学部学長）。
「健康栄養研究部門」「薬膳科学研究部門」「栄養クリニック部門」「フードテック部門」
「社会連携部門」の 5 つの部門から成り、各部門が地域社会へ還元する活動を行う。

開催 案内

フード&ヘルス イノベーションセンター開設記念講演会 『味とにおいの見える化が描く新世界』

日 程：2024 年 11 月 2 日(土)
14:00～15:30（開場 13:30～）
場 所：中村学園大学 2 号館 2405 教室
（福岡市城南区別府 5-7-1）
定 員：250 名（予約制・先着順）※参加無料



講師
紹介

中村学園大学大学院 栄養科学研究科
都甲 潔 特任教授

当日は「学園祭」「ファーマーズマーケット」も開催！

農水産物・加工品など 20 店舗以上が出店するイベント。昨年は来場者数 3,300 名。



フードバザー、ステージ発表、キッズ体験イベント、健康チェックなど盛りだくさん。



／ 大人から子どもまで、キャンパスで楽しめます！ ／

九州大学大学院博士課程修了。同大学助手・助教授、同大学大学院教授、研究院長、主幹教授、味覚・嗅覚センサ研究開発センター長（現五感応用デバイス研究開発センター）を経て、現在、中村学園大学特任教授およびフード&ヘルス イノベーションセンターフードテック部門長。同時に九州大学特別主幹教授も務める。著書「プリンに醤油でウニになる」が話題に。食べ物の「味」を測定する装置「味覚センサー」を開発して世界中を驚かせた。2013 年には、学術・芸術上の発明・発見の業績がある人に授与される紫綬褒章ほか、受賞多数。

本件に関する取材の問合せ先

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 入試広報部広報担当／奥・大野・岩崎・垂水
〒814-0198 福岡市城南区別府 5-7-1
TEL(直通) 092-851-2634 FAX 092-851-2539
Mail: kouhou@nakamura-u.ac.jp URL: <https://www.nakamura-u.ac.jp>

フード&ヘルス イノベーションセンター 開設記念講演会

テーマ

『味とにおいの見える化 が描く新世界』

当日は、学園祭や
ファーマーズマーケットも
同時開催！



中村学園大学大学院 栄養科学研究科 特任教授

講師

都 甲 潔

〔講師紹介〕九州大学卒。九州大学助手、助教授、教授、主幹教授を経て、現在中村学園大学特任教授及び九州大学特別主幹教授、味覚センサ開発の功績で紫綬褒章・文部科学大臣表彰科学技術賞・安藤百福賞・経済産業大臣賞等、多くの賞を受賞。「世界一受けたい授業」等に出演し、味覚の啓蒙活動を推進。

開催日 令和6年

11/2 土

時間

14:00～15:30

開場

13:30～

会場

中村学園大学 2号館2405教室

定員

250名（予約制・先着順）

参加
無料

フード&ヘルスイノベーションセンターは、
食と健康の関わりを科学し、地域社会へ還元する
ことを目的として令和6年4月に開設しました。

プログラム

- 14:00 開会の挨拶
中村学園大学・中村学園大学短期大学部学長
フード&ヘルス イノベーションセンター センター長
久保千春
- 14:10 各部門紹介
- 14:50 開設記念講演
『味とにおいの見える化が描く新世界』
栄養科学研究科 特任教授
フード&ヘルス イノベーションセンター フードテック部門長
都甲 潔
- 15:30 閉会の挨拶

フード&ヘルス イノベーションセンター

健康栄養研究部門

栄養科学の視点から、各ライフステージの健康増進に
貢献する研究を推進します

薬膳科学研究部門

中国医学を基盤に気候・風土、個人の体質に合った
薬膳を提供して、健康寿命延伸を目指します

栄養クリニック部門

管理栄養士と医師が、全世代の健康生活を栄養面から
サポートします

フードテック部門

国境を超え、世代を超え、一生涯1人1人が食の
喜びと健康を享受できる未来を構築します

社会連携部門

食や健康情報の発信、産学連携により大学と社会を
つなぎます

